



このよの ちしきと れいてき ちしき

ホセア
4章 6節

わたしの民は知識がないので滅ぼされる。あなたが知識を退けたので、わたしはあなたを退けて、わたしの祭司としない。あなたは神のおしえを忘れたので、わたしもまた、あなたの子らを忘れよう。

神様がご自分のかたちを持つものとして、人を霊的存在として創造してくださいました。それゆえ、すべての人は神様を知るように造られています。ところが、多くの人が神様を知らず、霊的な無知に陥りました。世の中の知識であれば、熱心に勉強することによって身につけることができますが、霊的知識は学んでも身につけることはできません。罪とサタンと地獄の背景に勝ったイエス・キリストを通して神様に会うことによってだけ、霊的知識を身につけることができます。このような霊的知識を身につけてこそ、最初の人間をだまして倒した霊的存在であるサタンについても知ることができます。

霊的知識を得た神の子どもが祈るときに起きることがあります。それは聖霊の働きと天の軍勢、御使いの活動です。この霊的事実と霊的知識を知らなければ、どんなにいろいろな知識を身につけても、サタンの奴隷として生きて人生を終えることとなります。

霊的知識から出る霊的力で勉強をしましょう。そうすれば、霊的知識を知らない世の中の知識人を生かすまことの知識人になるでしょう。



きょうのみことば

Blank lines for writing the daily verse.



神様、ありがとうございます。毎日、神様を知る霊的知識を学び、私のこととする祝福を与えてください。生きておられるイエス・キリストのお名前によってお祈りします。アーメン



きょうのみことばをもう一度読んで、書いて、神様の御声に耳を傾けましょう。



(ホセア 4:6 のみことば)



きょうのでんどう

会う人

Grid area for writing the daily devotion.

準備する資料

Blank lines for writing preparation materials.

サミットに あたえられた 3つの しゅくふく

使徒
19章 21節

これらのことが一段落すると、パウロは御霊の示しにより、マケドニヤとアカヤを通ったあとでエルサレムに行くことにした。そして、「私はそこに行ってから、ローマも見なければならぬ」と言った。

伝道者パウロは神様が最も重要だと思われることを理解した霊的サミットでした。それゆえ、行くすべてのところで神様が会わせてくださる弟子をたて、ともに福音を伝えました。私たちはすでに神様の大きな愛を受けました。ですから、神様は私たちをパウロのように、この時代のレムナントと呼んで、霊的サミットの祝福をくださいました。毎日、神様がサミットに与えてくださった3つの祝福を黙想して確認する時間を持つればよいのです。

1つ目、サミットタイムを持ちましょう。ひとりでいるときや教会で、ひたすら神様のみことばと祈りに集中する礼拝をささげましょう。みことばには霊的な力があり、私たちのすべてをいやしてくださいませ。神様はみことばを通して知恵をくださいませ。それとともに賛美を聞けば、いやしと同時に霊的な力を蓄えるようになるでしょう。2つ目、サミット姿勢を持ちましょう。パウロのように、神様が私とともにおられ(WITH) 私たちとともにおられ(Immanuel) すべてのことを通して神様が計画を成し遂げられるという事実を信じるときに、姿勢を持つことができます(Oneness)。3つ目、十分にすべてを受け入れることができるサミット器を持ちましょう。今日も3つの祝福の中で力強く一日を始めましょう。

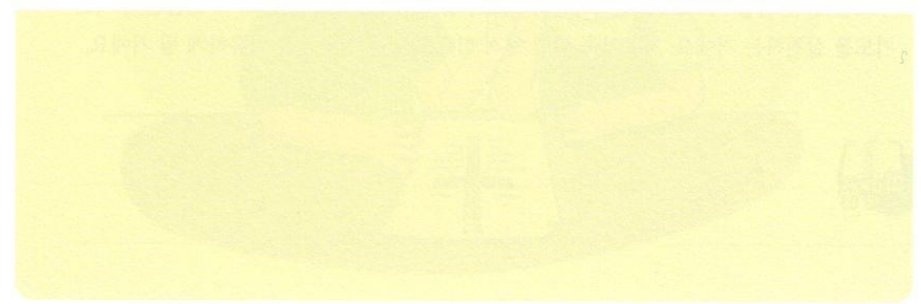
きょうのみことば

きょうのいのり

神様、ありがとうございます。サミットタイム、サミット姿勢、サミット器を備えたレムナントになるように、心から神様に集中できるように導いてください。生きておられるイエス・キリストのお名前によってお祈りします。アーメン



サミットタイム、サミット姿勢、サミット器が私の祝福になることを祈りながら絵日記を書きましょう。



きょうのでんどう

あひと
会う人

じゆんび しりょう
準備する資料

やんでいる ともだちを いやしに いきましょう

ピリピ

3章 8~9節

それどころか、私の主であるキリスト・イエスを知っていることのすばらしさのゆえに、
いっさいのことを損と想っています。私はキリストのためにすべてのものを捨てて、それ
らをちりあくと想っています。それは、私には、キリストを得、また、キリストの
中にある者と認められ、律法による自分の義ではなくて、キリストを信じる信仰によ
る義、すなわち、信仰に基づいて、神から与えられる義を持つことができる、という望
みがあるからです。

数多くの人が神様を知らないで、神様なしのまま成功のために必死にがんばって生
きています。がんばって、もう少しうまくいきそうなところまでいくのですが、結局、
ダメになって彼らは絶望します。私たちの友だちも同じです。良い成績がとられるよう
に、または、自分の目標を達成するために、必死にがんばって勉強します。しかし、
神様なしで熱心に勉強して成功しても、押し寄せる霊的問題を止めることはできませ
ん。後には、神様が与えられたタラントではなく、競争によって他の人に勝たなければ
なりません。

そのような誤った努力のゆえに来る後遺症によって、全世界の次世代が苦しみを味
わっています。彼らには正しいいやしが必要です。神様の創造の原理のとおり、神様と
ともにいて、福音のみことばの中にあることができるように助けてあげれば良いので
す。神様は最高の知識であるキリストを主人としたレムナントとおして、その友だちを
いやすことを願っておられるからです。まずはひとりである時間に、神の子どもに与え
られた霊的力を備えましょう。毎日「子どもの祈りの手帳」のみことばを心に入れて、
そのみことばを味わう祈りを実践しましょう。少しずつ蓄えられた霊的力によって、
病気の人をいやすようになるでしょう。

きょうのみことば

きょうのいのり

神様、ありがとうございます。最高の知識であるキリストを知って、その中
で神様がくださる知恵によって友だちを生かして勉強する力をください。
生きておられるイエス・キリストのお名前によってお祈りします。アーメン



みことばを
適用しよう

勉強が偶像になっている友だちと福音を知らないで勉強のために
苦しんでいる友だちがいます。福音にあつて新しく始めることが
できるように、正確な福音の内容をふきだしの中に書きましょう。



きょうのでんどう

あひと
会う人

じゅんび
準備する資料



くるしみも かみさまの こたえに なる おくぎ

創世紀
39章 1～6節

主がヨセフとともにおられたので、彼は幸運な人となり、そのエジプト人の主人の家^{いえ}にいた。彼の主人は、主が彼とともにおられ、主が彼のすることすべてを成功^{せいこう}させてくださるのを見た。

レムナントのヨセフは、多くの苦しみを経験しましたが、どこに行っても、神様の絶対主権の中で勝利しました。ヨセフはいくつかの義勇^{おおくぎ}を持っていました。1つ目、神様がくださった確実なメッセージをいつも心に大事に留めていました。奴隷として売られたときも、濡れ衣^{ぬれぎぬ}によって行った監獄での悔しさのときも、神様のメッセージを契約と夢として心に留めていました。ですから、どんな状況も神様の契約を成し遂げる機会と過程になりました。2つ目、神様がともにおられる方法の中から与えられる力を持っていました。神様はいつも私とともにおられ (WITH) 私たちとともにおられ (Immanuel)、すべてのことの中で神様が計画を成し遂げておられることを知って信じていたのです (Oneness)。3つ目、未来にやってくる神様の時刻表を知って待っていました。それゆえ、今日、何をすべきかを知って実践しました。

私の考えと心に神様のみことばが契約として入っているなら、そのみことばのとおり私を導いてくださるでしょう。今日も私たちにくださった神様の契約が成り立つ最高の日であることを忘れないようにしましょう。



きょうのみことば



きょうのいのり

神様、ありがとうございます。今日も、神様が自分にくださった契約を成し遂げておられることを知って味わったヨセフのように、信仰をください。生きておられるイエス・キリストのお名前によってお祈りします。アーメン



今月の悩みはなんでしょうか。



パク・ウヨン牧師夫人
わたし、なやんでいます！



この苦しみが本当に神様の計画の中にあるものですか。どうしたら苦しみが Oneness の祝福になるのでしょうか。



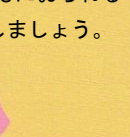
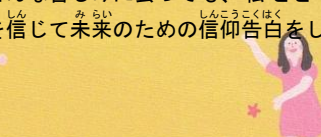
生きておられる父なる神様は、私たちを孤児のように放っておかれませんか (ヨハネ 14:18)。いつもみことばで私たちの中におられ、生きているみことばによって導いてくださいます (ヨハネ 14:26-27) そのような中で私たちは苦しみに会うのですが、父なる神様は何の計画もなく苦しみを与えられるのでしょうか。



ヨセフが兄たちによってエジプトの奴隷として売られたとき、主人に氣にいられて家庭のことをとりしめる側近の者になったとき、どんな苦しみがあったのか思い出してください。あきれるような事件が起こって、その濡れ衣によって監獄に行くようになりました。ところが、結局、このことが総理になる機会につながったのです。その後、ヨセフはすべてのことは兄たちの子孫を生かそうとされる神様の計画であったと告白しました (創世記45:5-8)。

聖書は神の子どもの受けるすべての苦しみが、結局、益となると記録しています (ローマ 8:28)。その苦しみに神様がともに (Oneness) おられるからです。

これからどんな苦しみに会っても、私とともにおられる私の主人である父なる神様を信じて未来のための信仰告白をしましょう。



きょうのでんどう

会う人

準備する資料

Blank lines for writing notes or preparing materials.

かみさまの じゅんぴ

詩篇
92篇14～16節

彼がわたしを愛しているから、わたしは彼を助け出そう。彼がわたしの名を知っているから、わたしは彼を高く上げよう。彼が、わたしを呼び求めれば、わたしは、彼に答えよう。わたしは苦しみのときに彼とともにいて、彼を救い彼に誉れを与えよう。わたしは、彼を長いのちで満ち足らせ、わたしの救いを彼に見せよう。

神様の御名である「ヤーウエ」には「『ある』と言われる創造主」という意味があります。神様はこの事実を知って信じるレムナントに、まことの祝福をくださいます。また、福音と宣教のために、神様の御名をあがめるレムナントに、まことの成功を与えてくださいます。神様は全世界237 か国を生かすために、私たちが先に呼んでレムナントの契約をくださいました。このような私たちがより一層、正確に知るべきことがあります。私たちが愛して救われた神様の計画と準備です。

神様は私たち一人ひとりに、福音を通して新しいのちをくださいました。ですから、神様が生きておられることを現わす証人として立ててくださいませ。このように、神様は神の子どもに準備された完ぺきな計画と祝福を通して、全世界237 か国を生かす使命をくださいました。

神様は、ただ福音だけがあかしできるようにレムナントを立てられました。そして、教会を通して世界のあちこちにいる人々に福音が宣べ伝えられることを願っておられます。神様が私たちにくださった福音を伝える夢を描きましょう。私たちの祈りに答えて、苦しみのなか、ともにおられる神様の計画は成就するでしょう。



きょうのみことば

きょうのいのり

神様、ありがとうございます。神様が私に準備してくださった完ぺきな祝福が教会を通してあかしされることに用いられますように。生きておられるイエス・キリストのお名前によってお祈りします。アーメン



みことばを適用しよう

きょうのみことばで、神様が私にくださったメッセージを言葉や絵で自由に表現しましょう。

きょうのでんどう

あひと 会う人

じゅんぴ しりょう 準備する資料

27

レムナントの ただ

どようび

Ⅲヨハネ 1章2節 愛する者よ。あなたが、たましいに幸いを得ているようにすべての点でも幸いを得、また健康であるように祈ります。

世界的に有名な芸術家は、幼いときからいろいろな学問を学び、集中する時間を送りました。それならば、私たちは何に集中して過ごさなければならないのでしょうか。

福音を持つ私たちは、毎日、福音が最優先になるための神様に集中する時間を持たなければなりません。ただ福音だけが霊的問題を持つ人々を生かすことができるからです。もし幼いときから、ただ福音で答えを備えるなら、問題に直面しているすべての人にイエス・キリストという正確な答えを伝えることができます。この答えを持つレムナントに来る答えがあります。神様の霊の宿る人に現れる力です。すると、勉強する理由も友だちと付き合う理由も以前と変わります。

静かに神様の前で礼拝の祭壇を築く時間で一日を始めましょう。私の時間の中で特別に神様を見上げる定刻礼拝をささげましょう。この時間に最も正しい神様の導きを受ける時間を過ごすことができます。そのようにしていれば、いつのまにか神様が私にだけ与えてくださった専門性と現場の答えを見つけるようになるでしょう。

きょうのみことば

きょうのいのり

神様、ありがとうございます。毎日祭壇を築く定刻礼拝を通して、ただ福音だけが私を救い、全世界を生かす道であることを悟れますように。生きておられるイエス・キリストのお名前によってお祈りします。アーメン



みことばを
適用しよう

レムナントが味わう定刻祈りの時間を持っていた聖書の人物を見ながら聖書の内容とちがうところを見つけましょう。どのように祈っていたのかを考えてみましょう。



きょうの でんどう

あひと 会う人

じゅんび しりょう 準備する資料

Grid area for writing the message.

Grid area for writing the preparation materials.